

ガリレオ通信第1号

伯耆駿英予備校 平成27年5月

平成27年5月15日

保護者様各位

駿英予備校校長 影山昌秀

伯耆駿英予備校・今年の大学入試結果

今年度も素晴らしい合格実績でした。主な大学合格者は、以下の通りです。

鳥取・医学科	4	島根・医学科	1	滋賀医科・医学科	1	自治医科・医学科	1
九州	1	北海道	2	筑波	2	東京学芸	2
奈良女子	1	大阪市立	1	大阪教育	1	神戸市外語	1
広島	4	岡山	2	鳥取	10	島根	10
山口	1	香川	2	愛媛	1	高知	1
県立広島	1	高知県立	1	福岡教育	1		

京都薬科	3	私大薬学科	21	私大歯学科	1	早稲田	1
明治	2	法政	1	中央	1	立教	1
同志社	6	立命館	9	関西	2	関学	2

伯耆駿英予備校の特徴は、各大学の入試情報をたくさん持っていることと5科目総合的に指導することです。さらに、各教科必用な点数を取るために、何をどのくらいいつまでにすれば良いか明確にしているところです。

そして、生徒一人ひとりに面談を重ね合格のための計画的な指導をしています。

また、自習室が有効に使われています。伯耆駿英予備校に通っている生徒さんは、真摯に勉強に取り組み、互いに励まし合って勉強しています。

教える教諭は、京都大、筑波大、東北大、岡山大、南山大、など優秀な指導陣です。今年度、早稲田大、広島大卒の教諭も加わりました。一層充実しております。お任せ下さい。

II 各学年別メッセージ

1年生

高校に入学して2カ月近く経過しました。1学期中間テストもあり、勉強に部活にと忙しい日々を送っている人も多いでしょう。

(1) 1日3時間以上の勉強

1年生は、大学受験に向けての各教科土台作りの大切な時期です。今しか深く学ぶ機会のない基礎的な内容もあり、少し気を抜くと2年生、3年生で行う発展的学習の理解が難しくなりかねません。勉強、部活などそれぞれメリハリをつけて、今学習している内容が2年半後の受験にどうつながっているか授業内で説明もしますので、それを常に意識し、自分の目標に向けて、1日3時間以上は勉強してください。

(2) 進路・面談

進路や志望校がまだ定まっていない人も、様々な人に話を聞いたり、本を読んだり、自分の興味、関心がどこに向かっているのかアンテナを張り巡らせて探していきましょう。そこが決まると、特に強化すべき科目や今の段階ですべきことなどがもっと明確に見えてきます。進路や勉強、日々のことで悩んでいること、不安なことがあればいつでも担任か進路指導部に声をかけて相談してください。

中間試験後皆さんに書いていただいた進路アンケートにもとづいて、1年生は全員、進路面談をします。

都会の予備校・中高一貫校に負けないカリキュラムと指導方法で、必ずや皆さんの夢を実現したいと思っています。そのために日々私たち教員も教材研究に戦っています。3年間、この伯耆駿英予備校でしっかり勉強して下さい。

2年生

(1) 1日4時間以上の勉強

受験まであと2年間ですが、この1年間がとても大事です。特に夏までが勝負です。

難関大学、難関学部を目指している人は、この1年間に模試でC判定以上は出しておかないといけません。そのためには、得意教科を徹底的に伸ばすこと、中途半端な伸び方ではなく、深く掘り下げて二次対策の意識を持って勉強することが大事です。また弱点教科を作らないことも大事です。1日4時間以上の勉強が必要です。

(2) 志望大学を調べる

2年生は、自分の志望大学の特色や試験科目・配点等を調べ、難易度の異なる大学を三校ぐらい、大まかな候補を考えておきましょう。夏休みに大学見学に行くとやる気が出ます。

(3) 自分の勉強スタイルの確立

一番重要なのが「こういう勉強をすれば成績が上がる」というスタイルを確立すること。

模試ごとに計画を見直し、次の模試までにどの範囲を補強するか、それを実行して模試で結果を見る。そのサイクルの中で自分にあった方法を模索しましょう。「こういう勉強をしたら成績が上がった」というスタイルが見つけられるまで、勉強に時間をかけましょう。手遅れにならないように、今、2年生のうちに頑張りましょう。

3年生

(1) 夏までが勝負

言うまでもなく今年1年間で勝負が決まります。しかも、今年前半の夏までにほぼ決まってしまうと言っても過言ではありません。それ以降の伸びはなかなか難しいです。

(2) 1日5時間以上の勉強

どの教科を今伸ばすのか、どの教科はいつまでにどれくらい取れるようにするのか。具体的に計画を立てて、勉強して下さい。1日5時間以上の勉強が必要です。5時間以上を勉強しないで、志望校をあきらめてはいけません。

(3) 模試

3年生はこれから毎月のように模試を受けることになります。各教科で多少の点数の変動はあるものの、合計点で見れば、やはり、実力通りの結果が出ます。あまり良くない結果の人は、今の自分の実力を冷静に受け止めて、それでも「やれば上がる」と信じて努力しましょう。

勉強面では、入試において強力な武器になる（安定して高得点が取れる）教科が2教科、出来れば3教科あれば受験にはかなり有利です。特に英語は必ず得意にしておかないといけません。

夏までに英語を含めた2教科で実際に点数が取れて自信がつけば、夏以降に苦手な教科に時間を使えるので、入試本番の1月頃には、全体的なレベルアップが期待できます。

(4) 足掻く（あがく）

何をやってもうまくいかない時は必ずありますが、苦しくても足掻ききるかどうかが入試本番でも、その後の人生においても大切です。

受験で「自分はあれだけやった。だから大丈夫だ。」という経験があれば、大学以降の自信にもなります。

部活と同じで、まずは体力（勉強時間）を鍛え、次に得意なスキル（得意教科）を伸ばすことが、実力アップの近道です。